

平成 19 年 12 月 13 日

1 2 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

- 所長の高橋でございます。本日、私からは 2 点申し上げます。
- まずは、「発電所の耐震安全性の検討状況」についてです。

当社では、今回の中越沖地震を受け、発電所の耐震安全性を評価するため、海域と陸域での地質調査を実施しております。このうち、海域調査につきましては、8 月 27 日から 11 月 8 日にかけて、発電所周辺の東西約 50 k m 南北約 140 k m の広い範囲で調査を行い、現在評価を進めております。

現在進めている調査の評価結果の一部と平成 15 年に行った評価結果について、12 月 5 日に開催された国の委員会（総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会 耐震・構造設計小委員会第 2 回地震・津波、地質・地盤合同WG）に報告するとともに、同日、報道関係の皆さまへもご説明をさせていただきました。また、この内容につきましては、12 月 9 日発行のニューアトムにおいて、地域の皆さまにもお知らせしております。

平成 15 年の評価は、断層の認定に関する最新の知見に基づき実施したのですが、その結果、「F-B 断層」を含む 7 つの断層について活断層の可能性があると評価し、当時、国に報告をしておりました。本評価結果につきましては、当時の調査において活断層の可能性があると認識されたものの、仮に活断層と評価しても安全審査時の評価に対し問題がないと評価していたことから、広く地域の皆さまへお知らせすることについて思いが至りませんでした。

また、昨日、本部長の武黒が、新潟県、柏崎市、刈羽村を訪問し、本件の概要についてご説明いたしました。その際にご指示のありました項目につきましては、真摯に受け止めるとともに、今後、必要な対策等を検討してまいりたいと思っております。

当社は、平成 14 年の原子力不祥事や昨年 11 月以降明らかになったデータ改ざん問題を踏まえ、情報開示の徹底等、地域の皆さまからの信頼を回復するための取り組みを進めておりましたが、このような中、平成 15 年の断層評価の結果をこれまで公表してこなかったことは、地域の皆さまへの配慮が足りなかったものであり、深く反省しております。

今般の件では、広く地域の皆さまに情報の提供ができなかったことにつきまして、この場をお借りして、あらためてお詫びを申し上げますとともに、今後は、地域の皆さまの気持ちに思いをいたし、情報公開を徹底し、透明性の高い発電所運営に努めてまいります。

一方、陸域での地質調査につきましては現在も継続中であり、その一環である「敷地内の断層の調査」を実施するため、発電所構内の 2 箇所に深さ 15m 程度、直径 3 m 程度の円形の立坑を掘削しているところです。掘削が完了次第、その底盤付近で断層の状況を観察することとしておりますので、タイミングを見て現場公開をさせていただきますたいと考えております。

○ 2点目は、「発電所の点検状況」についてです。

先月も申し上げましたとおり、当発電所では、原子炉建屋内の重要設備をはじめ、原子炉内部などの一つひとつの設備について、詳細に点検・調査を行い、その健全性を確認しているところです。

炉内点検につきましては、年度内の全号機点検完了を目標として、ほぼスケジュール通りに進んでおり、1・2・5・7号機の4プラントにつきましては、フェーズ3までの点検を年内に完了する予定です。

タービンの内部状況確認につきましても、現在、順次実施しており、これまでに摩耗箇所や軽微な接触痕が確認されておりますが、これまでのところ、各機器の機能を損なうような特段の異常は確認されておられません。今後、年内に全プラントの内部状況確認終了させ、準備が整ったプラントから、順次、詳細点検に着手してまいります。

○ 最後になりますが、当発電所といたしましては、今後も設備の点検・復旧や地質調査等にしっかりと取り組むとともに、情報伝達や消防体制などの反省・教訓を踏まえた対策を十分に検討・実施し、「災害に強い発電所」を構築してまいります。また、地域の皆さまに対しましても、これらの取り組みをしっかりとご説明してまいりますので、何とぞご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表（運転保守状況）

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成19年12月)

平成19年12月13日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14 ~ H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	↓ 第15回定期検査による停止 ↓												
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	↓ 第12回定期検査による停止 ↓												
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	↓ 第10回定期検査による停止 ↓												
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	停止中 停止期間:H19.7.16~	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	↑ 原子炉自動停止 ↑												
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	↓ 第12回定期検査による停止 ↓												
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 停止期間:H19.5.24~	第7回 H17.12.10 ~ H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	↓ 第8回定期検査による停止 ↓												
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第8回定期検査中 停止期間:H19.11.15~	第7回 H18.8.23 ~ H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	↓ 第8回定期検査による停止 ↓												【7号機】 ・11月15日から第8回定期検査開始(お知らせ済み)

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (11月末現在)

11月	0.0%
19年度累計	24.2%
運転開始後累計	74.9%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (11月末現在)

11月	0
19年度累計	1,164,943
運転開始後累計	80,191,836

④ ドラム缶発生量(本) (H19年度第2四半期)

当期発生本数	61
貯蔵庫累積貯蔵本数	22,391
貯蔵庫保管容量	30,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H19年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,372
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (12月3日現在)

	東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	797	58%
	刈羽村	78	6%
	その他	80	15%
	小計	955	79%
県外	117	1,099	21%
合計	1,072	4,620	—
	5,692		100%
協力企業社数(社)	549		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が合わない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (11月末現在)

	11月	年度累計
地元	912	6,875
県内	700	9,045
県外	3,630	14,167
国外	34	231
合計	5,276	30,318

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
12月23・24日	クリスマス特別企画「サンタになってハイポーズ！」(サービスホール)
1月10日	次回定例所長会見予定
1月17日	ボディーマーキングヨガ教室(柏崎エネルギーホール)
1月17・18日	第126回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	11月26日	—	構内固体廃棄物仮貯蔵庫建設現場（非管理区域）におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—
②	12月6日	—	固体廃棄物貯蔵庫におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—
③	12月11日	4号機	使用済燃料プールでの異物の発見について（区分Ⅲ）	<ul style="list-style-type: none">・12月10日、使用済燃料プールにおいて、制御棒貯蔵ハンガーの点検をしていたところ、針金状のもの（長さ約3cm）、座金（直径約2cm）および中性子束計測管切断片と考えられるもの（約3cm×約1.5cm×約1cm）を発見。その後、座金（円環状、直径約2cm）1個を発見した。・原子炉と使用済燃料プールはプールゲートで仕切られており、またプール内には新燃料および再装荷する燃料が無いことから、燃料に影響を与えるものではない。・針金状のもの、座金については同日回収済み。中性子束計測管切断片と考えられるものの回収については別途調整中。